

令和4年度（2022年度）第1回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和4年度（2022年度）第1回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和4年（2022年）6月24日（金）

午後1時30分から午後3時10分まで

○開催場所 東海市役所302会議室（3階）

○出席委員 星川功（会長）、齋藤誠（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
荻本正久、川本晃平、小林裕之、佐野達郎、日浦佳宏、
湯浅一成、村瀬謙治、片桐眞砂子、平松久知、大里美栄子、
大瀧諒、秋山和子、三浦礼一、大村芳樹、田内重光、山内三奈、
桑山忍、大林益英、大西彰

○欠席委員 天野朝之、横山和彦、久保田英男

○事務局 総務部長、総務部次長、交通防犯課長、同統括主任、同主任2人

○オブザーバー 委託事業者1人

○東海市ハーフマラソン2022についての説明者 スポーツ課統括主任、同主事

○傍聴者の数 3人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

（会長）新型コロナウイルス感染症について、最近は落ち着きを見せており、先月は3年ぶりの行動制限なしのゴールデンウィークということで、公共交通機関を使って移動した人も多かったと聞いている。本市としても、花火大会は中止とさせてもらったが、それ以外のイベントについては、予定通り実施予定である。新型コロナウイルス感染症以外にも、ロシアのウクライナ侵攻等による原油価格の高騰や物価高など、市民生活に大きな影響を与えている。市としては、市内業者や市民に対する支援に関する補正予算を議会に提案していく予定。また、循環バスについては、市民の方から様々な声が届いている。市としても可能な限り多くの方の日常の足としての利便性向上を目指していきたい。今年度は令和5年度に東海市地域公共交通計画を策定するために市民

アンケート調査等を実施予定である。様々な課題を抱えている循環バスではあるが、本日お集まりの皆さんのお力添えをいただき、東海市の地域交通をよりよいものにしていきたいと考えているので、忌憚ないご意見をお願いしたい。

3. 報告事項

(1) 地域公共交通会議について

事務局及び中部運輸局愛知運輸支局による「地域公共交通会議」についての説明

(2) 令和3年度（2021年度）第4回会議録の確認について

(3) 令和3年度（2021年度）書面協議の結果報告について

(4) 循環バスの利用状況について

事務局による資料1から資料3の説明

（委員）循環バスの利用者数はコロナ禍前と比べるとどうなっているのか。

（事務局）30%程落ち込んでいる。

(5) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

事務局及び愛知県交通対策課による資料4-1から資料4-2の説明

（委員）資料4-2 横須賀（A）の前回の事業評価結果の反映状況の中に「南知多町」とあるのはなぜか。

（事務局）愛知県に確認する。

(6) 東海市地域公共交通計画策定支援業務委託について

事務局による資料5の説明

(7) 東海市循環バス特別乗車証の取扱いについて

(8) 中型バス車両更新について

事務局による資料6及び資料7の説明

（議長）75歳以上の特別乗車証の有効期限はいつまでか。

（事務局）3年である。

(9) 東海市ハーフマラソン2022について

事務局及び教育委員会による資料8の説明

（委員）運休を実施するにあたっての周知方法はどのように考えているのか。

（事務局）全てのバス停への掲示、ホームページや市広報紙への掲載を考えてい

る。

(委員) 系統の途中から運行を再開する系統もあるため、分かりやすい案内をお願いしたい。

(事務局) 承知した。

(委員) 今回も沿道応援は実施するのか。

(教務員) 現在のところは実施する予定。実施できない場合、ライブ中継等も検討している。

4. 協議事項

(1) 令和3年度(2021年度)東海市地域公共交通会議決算書について
事務局による資料9の説明

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(2) 令和4年度(2022年度)事業計画案について
事務局による資料10の説明

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(3) 令和5年度(2023年度)生活交通確保維持改善計画案について
事務局による資料11の説明

(議長) 令和5年度目標値365,000人は達成できそうか。

(事務局) 昨年度後半から増加傾向にあるため、令和4年度は300,000人を、令和5年度には目標値を達成できるように取り組んでいく。

(議長) 東海市には交通不便地域等はないのか。

(事務局) 愛知運輸支局に確認したところ、本市における該当地域はなしとのこと。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(4) 東海市公共交通網形成計画の推進について
事務局による資料12の説明

(議長) 企業広告の掲載は順調なのか。

(事務局) 毎年同じ1社から掲載依頼があり、昨年度は合計2社の広告を掲載し

た。

(委員) バスの乗り方教室については、日にちと予算の許す限り今後も協力していきたい。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(5) 東海市地域公共交通計画策定支援業務委託の進捗状況について

事務局による資料13-1から資料13-4の説明

(委員) アンケートは何人に配布するのか。また、地域ごとの人数調整はするのか。

(事務局) 3,500人に郵送するものである。年代別、地域別にばらつきが出ないように抽出する。

(議長) 何歳以上を対象とするのか。また何割回答を見込んでいるのか。

(事務局) 16歳以上を対象としている。前回のアンケート時は5割程度の回答率であった。

(議長) 表紙に記載する記入者の説明文をもう少し大きくしてはどうか。

(事務局) その様に修正させていただく。

(議長) タクシーについては、事業者名を記載しないのか。

(事務局) 市内に乗り入れしている5社の事業者名を追記させていただく。

(委員) バスの乗り方教室等の機会を利用して、子どもたちへのアンケートは実施しないのか。

(事務局) 学校への協力依頼は難しい。

(議長) 一般的にアンケートを作成する時は、中学校3年生くらいが理解できるように作成するので、小学生に対するアンケートは難しい。

(委員) 問10の回答欄4から6について、朝夕ダイヤを廃止することで、どのような利用促進に繋がるのか分かりにくい。

(事務局) 検討させていただく。

(委員) 利用者アンケートは車内で配布するとのことだが、運転手の負担にならないようにしてほしい。

(事務局) アンケートの配布は、運転手ではなく委託事業者がバスに乗車して配布するため、運転手の負担にはならないように実施する。

(議 長) 本番のアンケートはカラー印刷にするのか。

(事務局) カラー印刷で作成する。

(議 長) アンケートはいつ頃実施予定なのか。

(事務局) 市民アンケートの抽出作業結果が7月中旬に出る予定なので、早ければ7月下旬には発送する予定である。乗降調査及び利用者アンケートは9月以降に実施する予定である。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

5. 閉会のことば